

大会規約(試合時間・防具)

【防具】 ○着用義務 △任意着用 ×着用不可

	ヘッド ガード	拳 サポーター	スネ サポーター	ヒザ サポーター	ファール カップ	胸 サポーター	ボディ プロテクター	マウス ピース
チャレンジクラス	○	○	○	○	○ 男子 △ 女子	△ 男子 △ 女子 小学2年以下 ○ 女子 小学3年以上	△	△
チャンピオンクラス 小学生 男女	○	○	○	○	○ 男子 △ 女子	× 男子 △ 女子 小学2年以下 ○ 女子 小学3年以上	×	△
チャンピオンクラス 中学生 男女	○	○	○	○	○ 男子 △ 女子	× 男子 ○ 女子	×	△
チャンピオンクラス シニア 男女	△	○	○	○	○ 男子 △ 女子	× 男子 ○ 女子	×	△
チャンピオンクラス 一般 男女	△	○	○	○	○ 男子 △ 女子	× 男子 ○ 女子	×	△

- ★ヘッドガード任意のクラスでは、片方の選手のみヘッドガードを着用している場合、双方の選手がヘッドガードの着用をお願いします。
- ★サポーター類、ヘッドガード、ボディプロテクター、赤紐(赤コーナーでの対戦の場合使用)の貸し出しは行いませんので、各自でご用意ください。
- ★サポーターはすべて布製とし、皮製・ビニール製の物は禁止です。
- ★極端に薄いものは審判の判断により、使用が認められない場合があります。
- ★インナーチェスト・スポーツブラは腹部まで覆っているもの、プラスチック等の固い素材で出来ている物は使用禁止となります。
- ★男子のTシャツの着用は特別な理由(刺青、タトゥー等)がない限り禁止、女子は白を基調とした物を着用してください。
- ★サポーター類は全て空手着の下に着用してください。

【試合時間】

	本 戦	延 長	体 重 判 定	最 終 延 長
チャレンジクラス	1分	1分	無し	1分 (マスト)
チャンピオンクラス 小・中学生 男女	1分30秒	1分	無し	1分 (マスト)
チャンピオンクラス シニア 男女	1分30秒	1分	無し	1分 (マスト)
チャンピオンクラス 一般 男女	2分	2分	無し	2分 (マスト)

★全クラス体重判定を行わず、最終延長戦はマストシステムでの決着となります。

【型の試合】

	空手【型】部門	予選型	決勝型
小学校 低学年以下のクラス 小学校 高学年のクラス 中学生以上のクラス	初級(無級～7級)	太極Ⅲ	平安Ⅰ
小学校 低学年以下のクラス 小学校 高学年のクラス 中学生以上のクラス	中級(6級～3級)	平安Ⅱ	平安Ⅲ
小学校 低学年以下のクラス 小学校 高学年のクラス 中学生以上のクラス	上級(2級～有段者)	平安Ⅴ	最破

★2名同時に演武を行い、どちらが優れているかを競い、赤白旗判定で勝者を決める。(トーナメント方式)

大会規約(防具の種類)

※いずれの物も、形式が合致すればメーカー・カラーは問いません。

☆ヘッドガード(各自で用意)



- ①・②前面にガードがあれば使用可
- ③前面にガードが無ければ全て使用禁止

☆拳サポーター(各自で用意)



- ①布製は使用可能
※極端に薄くなっている物は使用禁止
- ②革製や合皮製の物は全て使用禁止

☆すねサポーター(各自で用意)



- ①布製であれば使用可能(ソックスタイプ)
- ②布製であれば使用可能(マジックテープ式)
- ③革製や合皮製の物は全て使用禁止

☆ひざサポーター(各自で用意)



- ①膝のみのガード、布製であれば使用可能
- ②革製や合皮製の物は全て使用禁止

☆胸サポーター(各自で用意)



- 【チャンピオンクラス】
- ①スポーツブラタイプのみ使用可能
インナーはウレタンパックのみ使用可能
- 【チャレンジクラス】
- ①・②・③いずれの物も使用可能

☆赤の腰ひも(各自で用意)



赤コーナーでの対戦の場合使用します

☆ボディプロテクター(各自で用意)



メーカー・カラー、特に指定なし
※チャレンジクラスのみ使用可能

☆ファールカップ(各自で用意)

特に指定はありません

大会規約(組手 試合ルール)

- 一本勝ち
 - ①反則箇所を除く部分への攻撃で3秒以上ダウンさせるか、3秒以上戦意を喪失させた時。
 - ②技あり2本で一本勝ち。
- 技あり
 - ①反則箇所を除く部分への攻撃で一時的にダウンさせるか、一時的に戦意を喪失させた時。
 - ②足掛け技で転倒させ、タイミング良く倒れた相手に下段突きを決めた時。
- 判定優先順位(審判5人の場合、3人以上が認めた場合有効。審判3人の場合、2人以上が認めた場合有効。
一本勝ち > 技あり > ダメージ > 有効打 > 攻撃数 > 積極性

●反則による「注意、減点、失格」の推移と判定優先順位

反則1	反則2	反則3	反則4
注意1	注意2	注意3	注意4
	(減点1)		(減点2で失格)
		技あり > 注意3	

- 反則
 - ①手技による首から上へ(首含む)の攻撃
 - ②金的蹴り
 - ③頭突き
 - ④倒れている相手への当てる攻撃
 - ⑤背後からの攻撃
 - ⑥掌底押し・正拳押し・つかみ・投げ・手掛け・クリンチ
 - ⑦技のかけ逃げ(蹴ってすぐ倒れる事を繰り返した場合)
 - ⑧何度も場外へ逃げた場合
 - ⑨頭や胸などを故意にあわせている場合
 - ⑩その他、審判が特に反則とみなした場合
 - ⑪反則には悪意なものを除き注意が与えられる
悪意と判断した場合は減点・失格もあり得る(応援も含む)

- 失格
 - ①注意4となった場合
 - ②審判の指示に従わない時
 - ③試合開始時間に遅れた時
 - ④粗暴な振る舞いや悪質な試合態度とみなされた時
 - ⑤応援態度が悪質とみなされた場合にも失格となり得る場合がある
 - ⑥規定体重を越えていた場合

- 禁止事項
 - ①判定に対する抗議は一切認めない

- 着衣
 - ①ファールカップはズボンの内側に着用する事
 - ②男子のTシャツ(許可なし)は禁止
 - ③帯留めは任意
 - ④ゼッケンは空手着に取れないように貼り付ける事
 - ⑤眼鏡・時計・アクセサリー(ピアス等)は身体から外す事
 - ⑥ヘアピン・派手なヘアゴムの使用は禁止
 - ⑦その他、審判員が不可とみなしたものは身体から外す事

- 注意事項
大会当日、計量の体重が各クラスの基準を超えている場合、全試合で注意1、または減点1からのスタートもしくは失格になります。(成長期の選手は、体重増加を見込んでの参加をお願い致します。)

基 準	処 置
1kg未満	全試合で注意1からスタート
3kg未満	全試合で減点1からスタート
3kg以上	失格

大会規約(型 試合ルール)

【判定基準】

1. 正確性

- ・立ち方、突き、蹴り、打ち、受けの技が正しい
- ・中間動作が適切であり無駄な動きが無い
- ・重心の移動やバランスに優れていること

2. 技の緩急

- ・速く動くべきところが速く、緩やかに動くべきところが緩やかに動いていること
- ・連続動作が用法に即したリズムで動いていること

3. 力の強弱

- ・力の入れるべき所に適当な力が入っていること
- ・力の抜くべき所で力が抜けていること
- ・技の威力が表現できているか

4. 呼吸の調整

- ・息吹や気合が適切にできているか
- ・呼吸の乱れがなく、動作と調和が図れているか

【失格】

- ・規定の型と演武している型が違った場合。
- ・動きを忘れ完全に止まったり、三度以上型を間違えた場合。
- ・間違いにより継続できない場合。
- ・直ちに修正出来ないくらい完全にバランスを失ったり、倒れたりした場合。
- ・著しく覇気に欠け精彩が無い場合や、道場生らしからぬ態度が認められた場合。

注意事項

- ・選手は清潔な空手着を着用し、爪を短く切り武道に相応しい身なりに整え、ご参加ください。
- ・度を越した毛染め、装飾（指輪・ミサンガ・イナズマ等のライン含む）は禁止します。※主催者判断含む。
- ・空手着に過度な刺繍等ついている物は禁止します。
原則として、胸の刺繍（流派名）、及び腕部ワッペン・上着裾 名前刺繍のみとします。
それ以外は、白色テーピングか当て布で隠してください。
- ・対戦相手、審判に対する暴言や侮辱行為等があった場合、主催者の判断で選手は失格となります。
また、武道の大会に相応しくない粗暴な行為、ヤジ等あった場合、主催者判断で退場していただく場合があります。
上記の行為があった場合、今後 所属道場に対しての一切の出場をお断りします。
礼節ある応援と観戦をお願いします。
- ・組合せ、判定に対する抗議は一切受け付けません。
- ・選手は各自、5試合前までに所定の位置に集合してください。（試合時間に遅れた場合は失格となります）
- ・選手のウォーミングアップは、周囲に迷惑が掛からないように指定の場所で行ってください。
- ・試合場内での飲食は禁止致します。
食事は観覧席でお取りください。また、ゴミは各自で持ち帰るように御協力をお願いします。
- ・貴重品は各自で管理してください。
紛失した場合、主催者側は責任を一切負いません。
- ・その他、諸注意が守られない場合、主催者判断で失格・退場もあり得ます。
- ・出場申込後、不参加になる場合は、道場・団体単位でメールにて大会事務局へご連絡ください。